

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鹿児島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	鹿屋医療センター	2
-	大島病院	3
-	始良病院	4
-	薩南病院	5
-	北薩病院	6
鹿児島市	市立病院	7
枕崎市	市立病院	8
出水市	出水総合医療センター	9
垂水市	垂水中央病院	10
霧島市	医師会医療センター	11
南さつま市	市立坊津病院	12
肝付町	町立病院	13
公立種子島病院組合	公立種子島病院	14

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 鹿屋医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	14,001 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	182	48.2	52.5	57.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	186	47.1	51.4	55.8
平均在院日数(一般病床のみ)		8.7	8.9	9.9

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	855,245,218	
標準財政規模(千円)	489,321,864	
財政力指数	0.35726	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	190.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,812,917				
1 経常収益	3,812,544				
(1) 医業収益	3,104,073				
(うち修正医業収益)	2,967,876				
入院収益	1,858,860				
外来収益	1,074,690				
診療収入計	2,933,550				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	170,523				
(うち他会計負担金)	136,197				
(2) 医業外収益	708,471				
(うち国・都道府県補助金)	19,774				
(うち他会計補助・負担金)	465,738				
(うち長期前受金戻入)	210,752				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	373				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	4,238,996				
2 経常費用	4,210,496				
(1) 医業費用	4,007,099				
職員給与費	2,099,143	67.6	60.8	69.3	
材料費	998,503	32.2	27.1	18.4	
(うち薬品費)	711,693	22.9	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	262,313	8.5	11.8	9.1	
減価償却費	279,647	9.0	8.6	10.8	
経費	620,099	20.0	22.0	29.9	
(うち委託料)	297,394	9.6	11.8	13.7	
研究研修費	6,992				
資産減耗費	2,715				
(2) 医業外費用	203,397				
(うち支払利息)	34,091	1.1	0.9	1.0	
(3) 特別損失	28,500				
損益	-397,952				
純損益	-426,079				
累積欠損金	4,858,065				
経常収支比率	90.5		93.0	91.6	
医業収支比率	77.5		83.9	77.4	
修正医業収支比率	74.1		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	19.4		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	76.3		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	43,803,284
1 固定資産	27,104,697
(1) 有形固定資産	23,280,907
(2) 無形固定資産	172,444
(3) 投資その他の資産	3,651,346
2 流動資産	16,698,587
(1) 現金及び預金	14,116,029
(2) 未収金及び未収収益	2,449,319
(3) 貸倒引当金()	3,205
(4) 貯蔵品	132,714
3 繰延資産	-
負債合計	22,923,887
1 固定負債	14,310,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,203,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,106,347
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,080,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,019,195
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	690,867
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,326,433
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,533,377
(1) 長期前受金	15,143,452
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,610,075
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	20,879,397
1 本金	27,078,811
2 剰余金	-6,199,414
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-6,782,611
負債・資本合計	43,803,284
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	601,935	601,935
資本勘定繰入	259,400	259,400
計	861,335	861,335

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 大島病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,419 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	331	64.3	58.3	62.1
療養	-	-	-	-
結核	15	6.2	2.4	3.0
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	350	61.1	55.2	58.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.2	10.2

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	855,245,218	
標準財政規模(千円)	489,321,864	
財政力指数	0.35726	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	190.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,279,208			
1 経常収益	8,277,509			
(1) 医業収益	7,096,463			
(うち修正医業収益)	6,526,064			
入院収益	4,679,008			
外来収益	1,749,289			
診療収入計	6,428,297			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	668,166			
(うち他会計負担金)	570,399			
(2) 医業外収益	1,181,046			
(うち国・都道府県補助金)	23,927			
(うち他会計補助・負担金)	860,563			
(うち長期前受金戻入)	264,903			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,699			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,997,128			
2 経常費用	8,960,301			
(1) 医業費用	8,615,726			
職員給与費	4,907,497	69.2	60.8	61.3
材料費	1,802,303	25.4	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,023,934	14.4	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	706,120	10.0	11.8	11.2
減価償却費	498,095	7.0	8.6	8.5
経費	1,366,608	19.3	22.0	21.8
(うち委託料)	793,264	11.2	11.8	11.9
研究研修費	26,847			
資産減耗費	14,376			
(2) 医業外費用	344,575			
(うち支払利息)	4,023	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	36,827			
損益	-682,792			
純損益	-717,920			
累積欠損金	-			
経常収支比率	92.4		93.0	92.2
医業収支比率	82.4		83.9	84.6
修正医業収支比率	75.7		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	17.3		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.2		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	76.4		81.6	82.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	43,803,284
1 固定資産	27,104,697
(1) 有形固定資産	23,280,907
(2) 無形固定資産	172,444
(3) 投資その他の資産	3,651,346
2 流動資産	16,698,587
(1) 現金及び預金	14,116,029
(2) 未収金及び未収収益	2,449,319
(3) 貸倒引当金()	3,205
(4) 貯蔵品	132,714
3 繰延資産	-
負債合計	22,923,887
1 固定負債	14,310,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,203,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,106,347
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,080,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,019,195
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	690,867
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,326,433
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,533,377
(1) 長期前受金	15,143,452
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,610,075
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	20,879,397
1 本金	27,078,811
2 剰余金	-6,199,414
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-6,782,611
負債・資本合計	43,803,284
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,430,962	1,430,962
資本勘定繰入	126,997	126,997
計	1,557,959	1,557,959

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
始良病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,629 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	334	75.4	76.2	74.6
感染症	-	-	-	-
計	334	75.4	76.2	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,588,256
決算規模(千円)		855,245,218
標準財政規模(千円)		489,321,864
財政力指数		0.35726
経常収支比率(%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	190.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	3,284,291				
1 経常収益	3,284,153				
(1) 医業収益	2,282,630				
(うち修正医業収益)	2,268,595				
入院収益	1,923,614				
外来収益	334,977				
診療収入計	2,258,591				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	24,039				
(うち他会計負担金)	14,035				
(2) 医業外収益	1,001,523				
(うち国・都道府県補助金)	5,369				
(うち他会計補助・負担金)	876,837				
(うち長期前受金戻入)	87,688				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	138				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,919,754				
2 経常費用	2,903,765				
(1) 医業費用	2,809,397				
職員給与費	1,828,679	80.1	60.8	108.5	
材料費	331,840	14.5	27.1	9.4	
(うち薬品費)	224,789	9.8	14.8	6.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	22,276	1.0	11.8	1.4	
減価償却費	208,615	9.1	8.6	12.6	
経費	431,804	18.9	22.0	34.8	
(うち委託料)	226,192	9.9	11.8	15.4	
研究研修費	7,238				
資産減耗費	1,221				
(2) 医業外費用	94,368				
(うち支払利息)	607	-	0.9	2.1	
(3) 特別損失	15,989				
経常損益	380,388				
純損益	364,537				
累積欠損金	-				
経常収支比率	113.1		93.0	95.5	
医業収支比率	81.2		83.9	60.3	
修正医業収支比率	80.8		81.0	57.7	
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		12.2	35.6	
他会計繰入金対医業収益比率	39.0		14.3	58.4	
他会計繰入金対総収益比率	27.1		12.3	35.3	
実質収益対経常費用比率	82.4		81.6	61.5	

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	43,803,284
1 固定資産	27,104,697
(1) 有形固定資産	23,280,907
(2) 無形固定資産	172,444
(3) 投資その他の資産	3,651,346
2 流動資産	16,698,587
(1) 現金及び預金	14,116,029
(2) 未収金及び未収収益	2,449,319
(3) 貸倒引当金()	3,205
(4) 貯蔵品	132,714
3 繰延資産	-
負債合計	22,923,887
1 固定負債	14,310,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,203,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,106,347
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,080,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,019,195
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	690,867
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,326,433
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,533,377
(1) 長期前受金	15,143,452
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,610,075
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	20,879,397
1 本金	27,078,811
2 剰余金	-6,199,414
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-6,782,611
負債・資本合計	43,803,284
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	890,872	890,872
資本勘定繰入	105,518	105,518
計	996,390	996,390

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		鹿児島県	
市町村・組合名			
病院名	薩南病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,718 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	12	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	146	60.1	61.0	50.5
療養	-	-	-	-
結核	10	2.2	9.4	0.1
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	160	55.0	56.2	43.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	11.3	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,588,256	
決算規模(千円)	855,245,218	
標準財政規模(千円)	489,321,864	
財政力指数	0.35726	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	190.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,197,681			
1 経常収益	3,174,266			
(1) 医業収益	2,662,251			
(うち修正医業収益)	2,544,802			
入院収益	1,662,488			
外来収益	821,133			
診療収入計	2,483,621			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	178,630			
(うち他会計負担金)	117,449			
(2) 医業外収益	512,015			
(うち国・都道府県補助金)	16,426			
(うち他会計補助・負担金)	427,591			
(うち長期前受金戻入)	60,614			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,415			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,236,556			
2 経常費用	4,236,464			
(1) 医業費用	4,050,873			
職員給与費	2,057,238	77.3	60.8	69.3
材料費	668,853	25.1	27.1	18.4
(うち薬品費)	351,644	13.2	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	289,560	10.9	11.8	9.1
減価償却費	707,077	26.6	8.6	10.8
経費	606,602	22.8	22.0	29.9
(うち委託料)	295,249	11.1	11.8	13.7
研究研修費	4,475			
資産減耗費	6,628			
(2) 医業外費用	185,591			
(うち支払利息)	53,909	2.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	92			
経常損益	-1,062,198			
純損益	-1,038,875			
累積欠損金	3,517,680			
経常収支比率	74.9		93.0	91.6
医業収支比率	65.7		83.9	77.4
修正医業収支比率	62.8		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	20.5		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	62.1		81.6	75.4

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	43,803,284
1 固定資産	27,104,697
(1) 有形固定資産	23,280,907
(2) 無形固定資産	172,444
(3) 投資その他の資産	3,651,346
2 流動資産	16,698,587
(1) 現金及び預金	14,116,029
(2) 未収金及び未収収益	2,449,319
(3) 貸倒引当金()	3,205
(4) 貯蔵品	132,714
3 繰延資産	-
負債合計	22,923,887
1 固定負債	14,310,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,203,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,106,347
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,080,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,019,195
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	690,867
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,326,433
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,533,377
(1) 長期前受金	15,143,452
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,610,075
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	20,879,397
1 本金	27,078,811
2 剰余金	-6,199,414
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-6,782,611
負債・資本合計	43,803,284
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	545,040	545,040
資本勘定繰入	32,884	32,884
計	577,924	577,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名					
病院名 北薩病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	11,704 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	9	指定病院の状況	救臨感へ災	輪	
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	146	21.4	27.4	33.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	150	20.8	26.7	33.0
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.9	12.9

設立団体の状況		
人口(人)		1,588,256
決算規模(千円)		855,245,218
標準財政規模(千円)		489,321,864
財政力指数		0.35726
経常収支比率(%)		98.2
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.1
	将来負担比率(%)	190.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,271,248				
1 経常収益	1,268,886				
(1) 医業収益	973,228				
(うち修正医業収益)	848,019				
入院収益	492,196				
外来収益	330,150				
診療収入計	822,346				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	150,882				
(うち他会計負担金)	125,209				
(2) 医業外収益	295,658				
(うち国・都道府県補助金)	970				
(うち他会計補助・負担金)	221,805				
(うち長期前受金戻入)	70,199				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	2,362				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,062,660				
2 経常費用	2,060,745				
(1) 医業費用	1,957,229				
職員給与費	1,228,548	126.2	60.8	69.3	
材料費	167,677	17.2	27.1	18.4	
(うち薬品費)	92,894	9.5	14.8	8.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	63,843	6.6	11.8	9.1	
減価償却費	176,775	18.2	8.6	10.8	
経費	371,663	38.2	22.0	29.9	
(うち委託料)	200,499	20.6	11.8	13.7	
研究研修費	3,485				
資産減耗費	9,081				
(2) 医業外費用	103,516				
(うち支払利息)	3,870	0.4	0.9	1.0	
(3) 特別損失	1,915				
経常損益	-791,859				
純損益	-791,412				
累積欠損金	7,768,896				
経常収支比率	61.6		93.0	91.6	
医業収支比率	49.7		83.9	77.4	
修正医業収支比率	43.3		81.0	73.2	
他会計繰入金対経常収益比率	27.3		12.2	17.7	
他会計繰入金対医業収益比率	35.7		14.3	22.2	
他会計繰入金対総収益比率	27.3		12.3	17.9	
実質収益対経常費用比率	44.7		81.6	75.4	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	43,803,284
1 固定資産	27,104,697
(1) 有形固定資産	23,280,907
(2) 無形固定資産	172,444
(3) 投資その他の資産	3,651,346
2 流動資産	16,698,587
(1) 現金及び預金	14,116,029
(2) 未収金及び未収収益	2,449,319
(3) 貸倒引当金()	3,205
(4) 貯蔵品	132,714
3 繰延資産	-
負債合計	22,923,887
1 固定負債	14,310,157
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,203,810
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,106,347
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,080,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,019,195
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	690,867
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,326,433
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,533,377
(1) 長期前受金	15,143,452
(2) 長期前受金収益化累計額()	10,610,075
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	20,879,397
1 本金	27,078,811
2 剰余金	-6,199,414
(1) 資本剰余金	583,197
(2) 利益剰余金	-6,782,611
負債・資本合計	43,803,284
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	347,014	347,014
資本勘定繰入	46,370	46,370
計	393,384	393,384

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		鹿児島市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	51,275 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救急が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	568	88.1	76.8	78.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	23.6	75.0	67.2
計	574	87.4	76.7	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.2	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	593,128	
決算規模(千円)	294,080,066	
標準財政規模(千円)	143,026,778	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	39.9

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	25,646,842				
1 経常収益	25,639,460				
(1) 医業収益	23,880,464				
(うち修正医業収益)	23,688,124				
入院収益	17,097,166				
外来収益	6,358,257				
診療収入計	23,455,423				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	425,041				
(うち他会計負担金)	192,340				
(2) 医業外収益	1,758,996				
(うち国・都道府県補助金)	488,592				
(うち他会計補助・負担金)	613,363				
(うち長期前受金戻入)	458,066				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	7,382				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	28,246,690				
2 経常費用	28,241,408				
(1) 医業費用	26,730,287				
職員給与費	13,095,285	54.8	60.8	53.3	
材料費	8,203,485	34.4	27.1	33.0	
(うち薬品費)	4,246,648	17.8	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,952,107	16.5	11.8	14.1	
減価償却費	1,776,436	7.4	8.6	7.4	
経費	3,515,400	14.7	22.0	17.2	
(うち委託料)	2,026,258	8.5	11.8	10.2	
研究研修費	126,817				
資産減耗費	12,864				
(2) 医業外費用	1,511,121				
(うち支払利息)	244,413	1.0	0.9	0.7	
(3) 特別損失	5,282				
経常損益	-2,601,948				
純損益	-2,599,848				
累積欠損金	3,781,267				
経常収支比率	90.8		93.0	94.3	
医業収支比率	89.3		83.9	89.6	
修正医業収支比率	88.6		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	3.1		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	3.1		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	87.9		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	34,566,667
1 固定資産	21,972,884
(1) 有形固定資産	21,311,369
(2) 無形固定資産	155
(3) 投資その他の資産	661,360
2 流動資産	12,593,783
(1) 現金及び預金	8,935,524
(2) 未収金及び未収収益	3,518,235
(3) 貸倒引当金()	4,730
(4) 貯蔵品	144,276
3 繰延資産	-
負債合計	28,206,462
1 固定負債	21,796,483
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,686,950
(2) その他の企業債	87,720
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,021,813
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,847,618
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,675,743
(2) その他の企業債	120,820
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	813,591
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,105,006
(9) 前受金及び前受収益	6,040
3 繰延収益	1,562,361
(1) 長期前受金	3,637,035
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,074,674
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,360,205
1 資本金	9,862,212
2 剰余金	-3,502,007
(1) 資本剰余金	279,260
(2) 利益剰余金	-3,781,267
負債・資本合計	34,566,667
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	830,218	805,703
資本勘定繰入	838,649	768,705
計	1,668,867	1,574,408

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		枕崎市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,618 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	1	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	26	69.7	79.6	66.5
療養	29	93.9	92.2	92.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	82.5	86.3	80.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.9	25.0	23.2

設立団体の状況	
人口(人)	20,033
決算規模(千円)	14,972,170
標準財政規模(千円)	6,581,418
財政力指数	0.39
経常収支比率(%)	89.4
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	683,749			
1 経常収益	683,749			
(1) 医業収益	513,348			
(うち修正医業収益)	498,477			
入院収益	372,335			
外来収益	113,868			
診療収入計	486,203			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	27,145			
(うち他会計負担金)	14,871			
(2) 医業外収益	170,401			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	114,460			
(うち長期前受金戻入)	36,838			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	760,064			
2 経常費用	760,064			
(1) 医業費用	722,397			
職員給与費	456,962	89.0	60.8	82.0
材料費	37,803	7.4	27.1	14.2
(うち薬品費)	18,014	3.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,789	3.9	11.8	6.1
減価償却費	51,000	9.9	8.6	12.5
経費	170,672	33.2	22.0	34.4
(うち委託料)	58,997	11.5	11.8	16.9
研究研修費	5,704			
資産減耗費	256			
(2) 医業外費用	37,667			
(うち支払利息)	7,952	1.5	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-76,315			
純損益	-76,315			
累積欠損金	11,124			
経常収支比率	90.0		93.0	93.1
医業収支比率	71.1		83.9	69.6
修正医業収支比率	69.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	18.9		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	72.9		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,203,745
1 固定資産	669,582
(1) 有形固定資産	669,509
(2) 無形固定資産	73
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	534,163
(1) 現金及び預金	444,579
(2) 未収金及び未収収益	85,784
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,800
3 繰延資産	-
負債合計	829,298
1 固定負債	461,091
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	350,478
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,782
(6) リース債務	44,831
2 流動負債	102,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,835
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,969
(6) リース債務	15,076
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	33,271
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	265,898
(1) 長期前受金	591,142
(2) 長期前受金収益化累計額()	325,244
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	374,447
1 資本金	148,169
2 剰余金	226,278
(1) 資本剰余金	157,402
(2) 利益剰余金	68,876
負債・資本合計	1,203,745
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	129,331	129,331
資本勘定繰入	23,738	23,738
計	153,069	153,069

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	出水市				
病院名	出水総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	19,861 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	257	70.8	69.8	64.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	261	69.7	68.8	63.9
平均在院日数(一般病床のみ)		20.7	19.7	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	51,994	
決算規模(千円)	33,869,792	
標準財政規模(千円)	16,888,474	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	86.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,299,250			
1 経常収益	5,299,250			
(1) 医業収益	4,658,751			
(うち修正医業収益)	4,602,618			
入院収益	3,265,471			
外来収益	1,244,377			
診療収入計	4,509,848			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	148,903			
(うち他会計負担金)	56,133			
(2) 医業外収益	640,499			
(うち国・都道府県補助金)	4,641			
(うち他会計補助・負担金)	423,740			
(うち長期前受金戻入)	137,410			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,701,058			
2 経常費用	5,701,058			
(1) 医業費用	5,408,830			
職員給与費	3,201,687	68.7	60.8	66.2
材料費	1,022,742	22.0	27.1	21.2
(うち薬品費)	450,585	9.7	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	508,995	10.9	11.8	10.1
減価償却費	320,343	6.9	8.6	9.5
経費	849,654	18.2	22.0	28.6
(うち委託料)	303,181	6.5	11.8	14.4
研究研修費	9,849			
資産減耗費	4,555			
(2) 医業外費用	292,228			
(うち支払利息)	8,044	0.2	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-401,808			
純損益	-401,808			
累積欠損金	40,841			
経常収支比率	93.0		93.0	89.9
医業収支比率	86.1		83.9	79.3
修正医業収支比率	85.1		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	84.5		81.6	77.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,911,813
1 固定資産	3,168,890
(1) 有形固定資産	2,881,658
(2) 無形固定資産	160,828
(3) 投資その他の資産	126,404
2 流動資産	1,742,923
(1) 現金及び預金	1,007,688
(2) 未収金及び未収収益	700,347
(3) 貸倒引当金()	373
(4) 貯蔵品	33,161
3 繰延資産	-
負債合計	4,847,125
1 固定負債	2,961,243
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	957,334
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	606,000
(5) 引当金	1,397,681
(6) リース債務	-
2 流動負債	914,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	347,372
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	90,000
(5) 引当金	208,312
(6) リース債務	1,256
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	248,558
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	970,910
(1) 長期前受金	2,443,433
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,472,523
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	64,688
1 資本金	94,938
2 剰余金	-30,250
(1) 資本剰余金	2,278
(2) 利益剰余金	-32,528
負債・資本合計	4,911,813
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	677,148	479,873
資本勘定繰入	183,925	86,712
計	861,073	566,585

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	垂水市				
病院名	垂水中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,756 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	91	78.8	68.4	78.1
療養	35	87.7	80.6	81.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	126	81.2	71.8	79.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	19.2	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	13,819	
決算規模(千円)	14,441,105	
標準財政規模(千円)	5,609,318	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	387,341			
1 経常収益	387,341			
(1) 医業収益	42,912			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	42,912			
(うち他会計負担金)	42,912			
(2) 医業外収益	344,429			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	212,339			
(うち長期前受金戻入)	50,151			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	478,281			
2 経常費用	478,011			
(1) 医業費用	459,771			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	98,841	230.3	8.6	10.8
経費	358,034	834.3	22.0	29.9
(うち委託料)	2,920	6.8	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	2,896			
(2) 医業外費用	18,240			
(うち支払利息)	7,592	17.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	270			
経常損益	-90,670			
純損益	-90,940			
累積欠損金	-			
経常収支比率	81.0		93.0	91.6
医業収支比率	9.3		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	65.9		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	594.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	65.9		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	27.6		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,754,311
1 固定資産	1,061,350
(1) 有形固定資産	1,060,800
(2) 無形固定資産	550
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	692,961
(1) 現金及び預金	691,516
(2) 未収金及び未収収益	2,229
(3) 貸倒引当金()	784
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,188,261
1 固定負債	590,426
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	590,426
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	497,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,761
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	357,026
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	99,848
(1) 長期前受金	692,670
(2) 長期前受金収益化累計額()	592,822
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	566,050
1 資本金	362,950
2 剰余金	203,100
(1) 資本剰余金	113,365
(2) 利益剰余金	89,735
負債・資本合計	1,754,311
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,251	255,251
資本勘定繰入	77,098	77,098
計	332,349	332,349

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名 鹿児島県	
市町村・組合名	霧島市		
病院名	医師会医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	26,928 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	250	77.6	83.8	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	74.5	100.0
計	254	76.3	83.7	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	13.6	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	123,135	
決算規模(千円)	76,012,612	
標準財政規模(千円)	35,893,449	
財政力指数	0.55	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,981,008			
1 経常収益	7,981,008			
(1) 医業収益	6,425,207			
(うち修正医業収益)	6,368,092			
入院収益	4,362,973			
外来収益	1,925,526			
診療収入計	6,288,499			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	136,708			
(うち他会計負担金)	57,115			
(2) 医業外収益	1,555,801			
(うち国・都道府県補助金)	22,596			
(うち他会計補助・負担金)	1,359,708			
(うち長期前受金戻入)	48,484			
(うち資本費繰入収益)	107,672			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,816,271			
2 経常費用	8,781,396			
(1) 医業費用	8,108,541			
職員給与費	14,317	0.2	60.8	66.2
材料費	-	-	27.1	21.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	337,128	5.2	8.6	9.5
経費	7,746,383	120.6	22.0	28.6
(うち委託料)	3,395,324	52.8	11.8	14.4
研究研修費	-			
資産減耗費	10,713			
(2) 医業外費用	672,855			
(うち支払利息)	111,788	1.7	0.9	1.0
(3) 特別損失	34,875			
経常損益	-800,388			
純損益	-835,263			
累積欠損金	621,914			
経常収支比率	90.9		93.0	89.9
医業収支比率	79.2		83.9	79.3
修正医業収支比率	78.5		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	22.1		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	17.8		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	74.8		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	21,969,802
1 固定資産	19,300,285
(1) 有形固定資産	17,939,574
(2) 無形固定資産	219,171
(3) 投資その他の資産	1,141,540
2 流動資産	2,669,517
(1) 現金及び預金	1,633,383
(2) 未収金及び未収収益	1,036,680
(3) 貸倒引当金()	646
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	18,358,650
1 固定負債	16,265,965
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,393,416
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	872,549
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,683,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	501,914
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,939
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,179,164
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	409,568
(1) 長期前受金	1,056,315
(2) 長期前受金収益化累計額()	646,747
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,611,152
1 資本金	1,995,144
2 剰余金	1,616,008
(1) 資本剰余金	921,318
(2) 利益剰余金	694,690
負債・資本合計	21,969,802
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	522,455	1,416,823
資本勘定繰入	107,672	193,883
計	630,127	1,610,706

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	9.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	南さつま市				
病院名	市立坊津病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,597 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	26	43.0	43.1	43.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	26	43.0	43.1	43.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	18.6	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	32,887	
決算規模(千円)	32,246,241	
標準財政規模(千円)	13,056,588	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	505,427				
1 経常収益	505,427				
(1) 医業収益	330,589				
(うち修正医業収益)	294,295				
入院収益	180,072				
外来収益	100,338				
診療収入計	280,410				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	50,179				
(うち他会計負担金)	36,294				
(2) 医業外収益	174,838				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	144,298				
(うち長期前受金戻入)	16,820				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	475,704				
2 経常費用	475,704				
(1) 医業費用	472,461				
職員給与費	327,860	99.2	60.8	92.5	
材料費	18,941	5.7	27.1	14.2	
(うち薬品費)	12,211	3.7	14.8	7.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	6,730	2.0	11.8	5.8	
減価償却費	25,403	7.7	8.6	13.4	
経費	99,862	30.2	22.0	47.6	
(うち委託料)	46,960	14.2	11.8	23.6	
研究研修費	390				
資産減耗費	5				
(2) 医業外費用	3,243				
(うち支払利息)	3,243	1.0	0.9	0.9	
(3) 特別損失	-				
経常損益	29,723				
純損益	29,723				
累積欠損金	-				
経常収支比率	106.2		93.0	95.6	
医業収支比率	70.0		83.9	59.3	
修正医業収支比率	62.3		81.0	54.4	
他会計繰入金対経常収益比率	35.7		12.2	36.9	
他会計繰入金対医業収益比率	54.6		14.3	63.1	
他会計繰入金対総収益比率	35.7		12.3	36.8	
実質収益対経常費用比率	68.3		81.6	60.3	

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	795,768
1 固定資産	491,912
(1) 有形固定資産	491,912
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	303,856
(1) 現金及び預金	178,033
(2) 未収金及び未収収益	47,504
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,663
3 繰延資産	-
負債合計	363,042
1 固定負債	143,470
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	142,692
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	778
(6) リース債務	-
2 流動負債	50,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,439
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	17,486
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,195
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	169,452
(1) 長期前受金	321,530
(2) 長期前受金収益化累計額()	152,078
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	432,726
1 本金	321,388
2 剰余金	111,338
(1) 資本剰余金	3,492
(2) 利益剰余金	107,846
負債・資本合計	795,768
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	180,592	180,592
資本勘定繰入	11,183	11,183
計	191,775	191,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名		肝付町			
病院名		町立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,371 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	67.4	56.1	46.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	67.4	56.1	46.6
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	25.5	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,227	
決算規模(千円)	11,344,571	
標準財政規模(千円)	6,322,777	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	647,708			
1 経常収益	647,545			
(1) 医業収益	373,086			
(うち修正医業収益)	314,105			
入院収益	221,778			
外来収益	84,387			
診療収入計	306,165			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	66,921			
(うち他会計負担金)	58,981			
(2) 医業外収益	274,459			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	258,811			
(うち長期前受金戻入)	13,740			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	163			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	666,180			
2 経常費用	663,797			
(1) 医業費用	647,734			
職員給与費	385,478	103.3	60.8	92.5
材料費	39,086	10.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	23,494	6.3	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,592	4.2	11.8	5.8
減価償却費	43,177	11.6	8.6	13.4
経費	178,052	47.7	22.0	47.6
(うち委託料)	65,128	17.5	11.8	23.6
研究研修費	1,059			
資産減耗費	882			
(2) 医業外費用	16,063			
(うち支払利息)	466	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	2,383			
損益	-16,252			
純損益	-18,472			
累積欠損金	271,530			
経常収支比率	97.6		93.0	95.6
医業収支比率	57.6		83.9	59.3
修正医業収支比率	48.5		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	49.1		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	85.2		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	49.1		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	49.7		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	558,136
1 固定資産	380,656
(1) 有形固定資産	380,606
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	177,480
(1) 現金及び預金	116,786
(2) 未収金及び未収収益	54,236
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,458
3 繰延資産	-
負債合計	211,324
1 固定負債	67,449
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	67,449
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	67,312
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	27,077
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,152
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,011
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	76,563
(1) 長期前受金	261,222
(2) 長期前受金収益化累計額()	184,659
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	346,812
1 資本金	618,342
2 剰余金	-271,530
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-271,530
負債・資本合計	558,136
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	214,419	317,792
資本勘定繰入	15,935	15,935
計	230,354	333,727

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	72.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				鹿児島県	
市町村・組合名	公立種子島病院組合				
病院名	公立種子島病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,126 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	感 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	45.2	55.1	55.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	14.0	78.3	77.5
計	62	44.1	55.8	56.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	18.6	19.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	781,983			
1 経常収益	781,983			
(1) 医業収益	599,294			
(うち修正医業収益)	563,000			
入院収益	234,196			
外来収益	295,894			
診療収入計	530,090			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	69,204			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	182,689			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	112,036			
(うち長期前受金戻入)	66,613			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,019,442			
2 経常費用	1,019,442			
(1) 医業費用	969,330			
職員給与費	595,474	99.4	60.8	82.0
材料費	102,036	17.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	48,718	8.1	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,318	8.9	11.8	6.1
減価償却費	87,089	14.5	8.6	12.5
経費	183,604	30.6	22.0	34.4
(うち委託料)	91,566	15.3	11.8	16.9
研究研修費	1,127			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	50,112			
(うち支払利息)	20,204	3.4	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	-237,459			
純損益	-237,459			
累積欠損金	780,362			
経常収支比率	76.7		93.0	93.1
医業収支比率	61.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	58.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.0		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	24.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	19.0		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	62.2		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,844,317
1 固定資産	1,725,426
(1) 有形固定資産	1,724,215
(2) 無形固定資産	151
(3) 投資その他の資産	1,060
2 流動資産	118,891
(1) 現金及び預金	78,419
(2) 未収金及び未収収益	32,910
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,562
3 繰延資産	-
負債合計	1,930,941
1 固定負債	1,057,661
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,039,110
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	18,551
(6) リース債務	-
2 流動負債	227,995
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	142,168
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	36,147
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	645,285
(1) 長期前受金	1,480,139
(2) 長期前受金収益化累計額()	834,854
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-86,624
1 本金	609,880
2 剰余金	-696,504
(1) 資本剰余金	17,338
(2) 利益剰余金	-713,842
負債・資本合計	1,844,317
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	86,624
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	133,783	148,330
資本勘定繰入	85,539	134,252
計	219,322	282,582

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	130.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。